



やしお市民大学の日通信

・やしお市民大学OB会編集委員会・

企画活動

==企画講座==

★あなたのための年金(特に遺族年金について)★

11月26日 10:00~11:30 楽習館2階の映像ホールにて企画講座が行われました。

参加者はOB会18名でした。

今回のテーマは「あなたのための年金(特に遺族年金について)」を取り上げ、講師には日本年金機構 越谷年金事務所 お客様相談室 室長の富田雅一氏、同主任 小宮健司氏をお招きし行われました。特に遺族年金についての講義を受け、最後に質問等の時間を取り予定通り終了しました。

講座の内容は、年金、特に遺族年金について、年金金額の自己計算練習を含めて丁寧に説明して頂きましたが、多少内容が難しかったように思いました。今、受給している自分の年金については、受給前に少しは勉強して理解しているつもりでも、遺族年金は自分自身の問題というより、残された遺族の生活を司る大事なものであるため、今回の講座は大変有意義であったと思います。



企画講座 於:楽習館映像ホール

(15期 渡井 基典)

★その他企画活動★

秋に予定されていた「グラウンド・ゴルフを楽しむ」「学長懇話会」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止された。

協働活動

10月の「やしお市民まつり」、「ジャズフラッシュ2021」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止された。また、3月の「中川やしお花桃まつり」は大幅に規模が縮小されました。

部会活動

==太極拳部会==

★太極拳で健康維持!★

この太極拳部会に入って約5年たちました。最初はただ先生と先輩方のまねをするだけで精いっぱいでしたが、少しずつ、ほんとに少しずつ覚え、何とかついていけるようになってきたところです。



全体練習風景 於:楽習館

太極拳は本当に奥が深いと思います。いろんな要素がいっぱい含まれています。呼吸すること、力を抜くこと、重心を意識することなどなど。私は特に呼吸す

ることが一番大切かなと思っています。日々の生活の中で、呼吸を意識することなんてないですよ。普通に呼吸すれば生きていられます。でもゆっくり、深く呼吸することがどんなに気持ちいいことか。ゆっくり吸って、その倍の長さでゆっくり吐く。ゆっくり吸って、ゆっくり吐く。それを繰り返していると、なんとなく「じわっ」と体の中から温まってきます。太極拳 24 式とって、24 種類の動きがあります。

その一つ一つは全てゆっくりな動作です。ゆっくり動きながら、でも意識をするところはいっぱいあります。その意識すべきところが少しでも自分のものにできれば、健康を維持できる！ そう思って、これからも「ながーく」続けていきたいです。

(13 期 西 康子)

==健康ウォーキング部会==

☆14 か月ぶりのウォーキング☆

1 月 18 日(火)は久しぶりの健康ウォーキングの日である。天気予報では寒いと言っていたが、北西の風は冷たく本当に寒い。

八潮駅に集合といえば、いつも改札口なのだが、時節柄、ソーシャルディスタンスを取るために駅前公園が集合場所になっている。と、言っても広いからなあ、行ってみると思った通り、人の塊が三つばかりできている。一番大きな塊に近寄って見ると正解だった。班のリーダーがいる。まず参加費を払えばひと段落。後は、他の班の人ともごあいさつ。「おはようございます」「お久しぶり」「おめでとうございます」午前中だし、14 か月ぶりに顔を合わせたんだし、これから皆で神社にお参りするんだし、あいさつは様々。

コロナ禍だ、巣ごもりだというもの、みんなそれぞれそれぞれに元気そう。生っ白くもなく、やつれてもないし、目方が増えたとも見えない。参加者 23 名、誰もが健康だということは、2 時間で約 12000 歩を歩き通したことが証明している。

まず初めに、大曾根八幡神社にお詣りする。境内の説明板によれば、当社は、文亀二年(1502)に勧請されたが、一説には後三年の役で、八幡太郎義家が奥州へ出兵したが苦戦をしいられ、新羅三郎義光が兄義家を助けるため援軍をひきいて、寛治元年

(1087)に花俣郷から綾瀬川を渡河し大曾根の地を経て東国に赴いた頃より、八幡神を奉斎されたとも伝える。私としては、平安時代からあるものと思いたい。拝殿の左右の脇に回ると、それぞれ騎馬武者の彫り物がある。義家と義光だということだ。

桑袋大橋を渡る。橋の欄干のこっちと向こうの端っこに、大きな蛇が鎌首をもたげている。欄干は

「蛇橋」の由来を説く昔話のレリーフで飾られている。江戸時代に、将軍家の小菅御殿を水害から守るために綾瀬川の水を古利根川に流すように堤防が築かれると、近隣の農民の住まいと田畑が川で隔てられ、農作業に不自由するようになったので、将軍家から御下賜金をいだいて橋を造ったという。にしても、「名主新八」の話はかわいそうだ。



大曾根 八幡神社にて

桑袋ビオトープでトイレ休憩。カエルや小魚、トンボのために池が作られ、雑木林が整備され小鳥を招き込んでいる。今はコロナで休館中だが、地域の自然と動植物について学べる施設が建っている。普段、数人の職員が常駐していて、あれこれと教えてくれたり遊んでくれたりする。

大鷲神社にお詣りする。大鷲神社の御祭神は日本武尊(やまとたけるのみこと)である。



足立区花畑 桑袋ビオトープにて

日本武尊は東征の帰路、当地に本陣をおき、多年にわたり夷賊に苦しんでいた人々を救済したと伝えられる。人々は尊の善政に厚く感謝し、崩御のちに日本武尊をお祀りした。御祭神にちなみご命日とされる 11 月酉の日に神恩感謝の祭が行われるようになる。この祭がのちに酉の市と呼ばれる。

中世、新羅三郎源義光が兄八幡太郎源義家の援軍として後三年の役に向かう途次、当社に戦勝祈願し、勝利した帰途、再び当社に奉賽し、社殿を改築

「金の前立の兜」及び武具を奉獻したと伝わる。

幕末、幕府の命により義光の子孫である佐竹氏が本殿を改築。安政元年（1854）から明治8年まで20余年の歳月を要し、竣功を迎えた。総樺造りで数知れぬ大小の彫刻が随所に見られる。特に正面にある向拝柱に彫られた「昇り龍・降り龍」は荘厳で、左甚五郎13代目後藤与五郎の作と言われている。

境内にはたくさんの開き扇の描かれた提灯が掲げられているが、これは佐竹氏の定紋が「扇に月」だからである。



足立区花畑 大鷲神社にて

昼食会場はイタリア料理の「フェリーチェ」。密にならないように、班ごとに呼ばれて席に着く。今までになく静か。料理が運ばれるまでは、マスクを外さない。



ランチ風景 於:フェリーチェ

水を飲むのにも、一口ごとにマスクをする。さすがに、マスクをしては料理は食べられない。マスクを外して静かに食べる、黙食を実践する。一皿片づけると、口を拭いてマスクする。マスクしたら、次の料理まで会話する。実に模範的。



当日メニュー



==その他OB会員の活動==

☆八潮市障がい者福祉施設「やまびこ」

クリスマス慰問☆

令和3年12月24日金曜日に八潮市社会福祉協議会の隣にある障がい者福祉施設『やまびこ』へ、やしお市民大学OB会の7期・川和田氏、8期・原、元施設長(市役所OB)の久保田氏の3名でクリスマス慰問を行いました。

コロナウイルス感染拡大前はやしお市民大学ウクレレ部と久保田氏とでクリスマス慰問演奏会を行い、演奏後は菓子詰め合わせを障がい者の人達にプレゼントしていました。

コロナ感染拡大の為、ここ2年ほどは慰問演奏会は中止となりました。そこで菓子詰め合わせのプレゼントだけでも実施したいとの事で、施設の利用者29名にプレゼントすることにしました。

14時から約30分ほどで施設内(1階、2階)の作業場を訪ね、一人ひとりに菓子の入った袋を手渡し、グータッチやひじタッチをしました。皆喜んでいました。



左から原、川和田氏、久保田氏
(8期 原文雄)

やしお市民大学

☆入学式・始業式☆

5月14日 入学式・進級式

※やしお市民大学は現在1年生のみの在籍。
なお、2年生、大学院生はいないため、自主研究発表会、大学院研究発表会はありませんでした。

なお、7ページに「R04 やしお市民大学学習プロ

新型コロナの蔓延する中、楽しく穏やかに終われたのが何より良かった。

(1期 坂本藤次)

グラム(案)」を掲載しました。

連絡事項

☆協働活動☆

写真展

今年も「やしお市民大学との協働」で写真展を開催することになりました。

日時：4月6日(水)～13日(水)

場所：やしお生涯学習館 1階ホール

☆訃報☆

1期生の西森八重子さんは1月18日に逝去されました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

なお、8ページに特別寄稿2を掲載しました。

☆やしお市民大学OB会総会☆

令和4年度やしお市民大学OB会総会が下記要領にて開催されます。会員の皆様の出席をお待ちしております。

なお、「総会出欠・委任状はがき」と「年会費振替票」が同封されております。ご利用下さい。

記

日時：令和4年4月23日(土) 10:30～

場所：やしお生涯学習館 1階 多目的ホール

その他：新型コロナウイルス感染拡大防止のため来賓のご出席はなしとします。また一部の会員から要望のあった「会員相互の懇親の場」も今回は設けないものと考えております。

以上

☆その他☆

Yashio Jazz Flash 2021は残念ながら開催中止となりましたが、このジャズ・フラッシュと、市内で開催されたいくつかの催しについて6ページの「特別寄稿1」で紹介いたします

やしお市民大学OB会
OB通信QRコード



次号の発行時期は未定です

今年度もコロナ禍のためOB会活動が大きく制限されました。今後は3回目ワクチン接種が進み、順次コロナ禍が終息することを祈ります。

そして次回の61号は各種OB会活動が実施され、企画、協働、部会活動や各期の懇親会などの

活動を積極的に掲載したいと考えております。ぜひ、記事投稿をお願い致します。各部部长、各期代表・役員の方のご協力をお願い致します。

- ・記事は300～700文字程度とし、できるだけ写真添付をお願いいたします。
- ・記事、原稿提出は締め切りまでに編集責任者宛でお願い致します。
- ・企画活動はじめ、記事は会長又は副会長経由、部会報告は部長経由、その他は適宜記事の提供をお願い致します。

☆編集後記☆

コロナ禍で各種活動も中止に追い込まれてきました。OB通信も新しい編集委員が選任されましたが7月発行分を中止と致しました。12月頃からはオミクロン株によるとされる第6派の感染が拡大し、更に最近ではステルスオミクロン株(BA.2)と称される変異株も出始めており、心配しております。感染者数は過去最大となった後、なかなか下がらない状況にあります。入院者数、重症者数、死亡者数など各種指標も大きくは改善されません。埼玉県にも適用された「まん延防止等重点措置」の期間は延長されました。

3回目ワクチン普及、生活習慣変更、経口治療薬普及などにより1日も早くコロナ禍からの脱出を期待するばかりです。

次回61号からは記事満載のOB通信にしたいと考えております。新年度からは順次活動が始まると予想しております。会員の皆様の積極的な投稿を期待しております。また、編集委員をやってみたい方はご連絡下さい。

やしお市民大学OB会OB通信編集委員会

編集委員 田邊信代(10期)
寺嶋 誠(副会長 12期)
堀 公保(13期)
酒井美代子(13期)
金澤文子(副会長 14期)
高橋専一(14期)
平松伸介(14期)
鹿野雅巳(16期)

責任者/連絡先/記事送付先:

豊田 隆(会長 10期)

(PCメール) takashi.toyoda74@gmail.com

〒340-0833 八潮市西袋 874-6

(携帯電話) ☎ 080-3533-8352

(携帯メール) tkstoyoda8352@gmail.com

特別寄稿 1

★来年は期待します Yashio Jazz Flash★

新型コロナ感染症拡大防止のため今年も開催を見送る催し物が見られました。

「Yashio Jazz Flash 2021」を楽しみにされていた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。感染状況の悪化のためやむを得ない選択かと思われるます。



よし作品展」が楽習館で2月25日(金)から3月2日(水)まで催されました。本年度の作品はどれも仕上がりがていねいで感心させられるものばかりでした。児童生徒の皆さんの作品に込めた真剣な思いや指導された先生方子どもたちへの暖かい思いが伝わってきました。



★「ファミリーコンサート」★

2月6日(日)八潮メセナに於いて八潮市民吹奏楽団

八潮市民吹奏楽団
ファミリーコンサート
Family Concert

2022年2月6日(日)
13:30 開場 14:00 開演
八潮メセナホール

主催：八潮市民吹奏楽団・八潮市文化協会
共催：八潮市教育委員会

1. オリンピック・マーチ
吉岡裕司 作曲
2. THE WALTZING CAT
ジョー アンダーソン 作曲
3. ブロードウェイ「ライオンキング」メドレー
THE LION KING - BROADWAY SELECTIONS
ジェイブ・コック 編曲
4. 炎のだからもの
大野和二 作曲 福田洋介 編曲
5. 君をのせて
～「天皇の城郭に云々」より～
久石譲 作曲 櫻井英樹 編曲
6. 恋のパカンス
宮川泰 作曲 尾立正 編曲
7. イバナマの娘
アホニオールのスジョビシ 作曲 宮川泰 編曲
8. 交響的ビートルズ
THE SYMPHONIC BEATLES
ジョン カカバシ 編曲

★疫病と向き合う人びと★

資料館では毎年行われている企画展が「疫病と向き合う人びと」と題して1月22日(土)から3月13日(日)まで催されました。幕末における安政5年のコレラの流行はドラマ「仁」を見た方はご存知のことと思います。今まさにコロナ感染症に苦しむ私たちは当時の人と思いを一つにしているのかもしれませんが。教科書では大ざっぱに括られてしまう歴史が当時の八潮市に住んでいた人たちの記録を直接知ることができました。2月20日(日)の展示解説会の最後に、職員の方が「疫病の歴史を正しく広めるだけでなく、現在直面しているコロナ感染症をできるだけ記録することも資料館の役割と考えている。」との話が印象的でした。



によるコンサートが行われました。メセナに200人ほどのので空間に余裕があり心配を感じさせることなく、日頃の成果を軽やかに披露して頂き、音楽を楽しむことができました。生での演奏がとても新鮮でした。



★第35回なかよし作品展★

市内小中学校の特別支援学級による「第35回なか

☆R04 やしお市民大学学習プログラム(案)☆

令和4年度やしお市民大学及び大学院 学習プログラム(案)令和4年2月4日現在

大学 13:30から15:30まで

ホームルーム 15:30～16:30

大学院 9:30～11:30まで

期 日	第1学年			第2学年			大学院
	回	内 容	場 所	回	内 容	場 所	
5月14日	1	入学式・記念講演	メセナ	1	進級式・記念講演	メセナ	入学式・入学記念講演
5月21日	2	オリエンテーション	セミ4	2	八潮市の自治基本条例	セミ1	
5月28日	3	文章の基本	セミ4	3	SDGsについて	セミ1	ゼミ1
6月11日	4	コミュニケーション力	セミ4	4	文化財見学(バス1日)	市内	自主研1
6月18日	5	3分間スピーチ	セミ4	5	多文化共生	セミ1	
6月25日	6	八潮市の総合計画	セミ4	6	めざそう!きれいなまち八潮	セミ1	ゼミ2
7月2日	7	知って安心介護保険と障がい福祉	セミ4	7	自主研究(1)(SNS使用法)	セミ1	
7月9日	8	文学の魅力	セミ4	8	地域とコミュニティ	セミ1	
7月15日 (金)	9	公共施設見学	市内				自主研2
7月16日				9	八潮市の財政	セミ1	
7月23日	10	高齢社会の現状	セミ4	10	市民を守る八潮消防局を知る	草加八潮消防局	
8月6日	11	情報化社会(スマホ使い方)	セミ4	11	自主研究(2)	セミ1	合同懇談会1
8月20日	12	人権問題を考える	セミ4	12	八潮市の都市デザイン	セミ1	
8月27日	13	カウンセリング入門	セミ4	13	自主研究(3)	セミ1	
9月3日	14	八潮の歴史	資料館	14	地域で活動するために	セミ1	ゼミ3
9月10日	15	学外研修	学外	15	学外研修	学外	
9月17日	16	教育委員会の役割Ⅰ教育総務編	セミ4	16	八潮市の水道事業	水道部	
10月1日	17	リーダー論	セミ4	17	プレゼンテーション	セミ1	
10月8日	18	健康ストレッチ	文スポ	18	健康ストレッチ	文スポ	
10月15日	19	市民公開講座	メセナ	19	市民公開講座	メセナ	
		10月23日八潮市民まつり	予定				
10月29日	20	ディベート①	セミ4	20	地域力の活用	セミ1	合同懇談会2
11月12日	21	八潮市の食育	八幡公民館	21	八潮市の健康づくり	セミ1	
11月26日	22	八潮市の防災	セミ4	22	教育委員会の役割Ⅱ学校教育編	セミ1	
12月10日	23	ディベート②	セミ4	23	八潮市の防犯	セミ1	ゼミ4
12月17日	24	経済入門	セミ4	24	裁判員制度・模擬裁判	セミ1	自主研4
1月14日	25	避難所HUG	八條公民館	25	避難所HUG	八條公民館	ゼミ5/(HUG)
1月21日	26	八潮市のシティセールス	セミ4	26	自主研究(4)	セミ1	自主研5
1月28日	27	副学長講話	セミ4	27	自主研究(5)	セミ1	
2月4日		(大学院研究発表会)	多目的		(大学院研究発表会)	多目的	研究発表会(多目的)
2月18日	28	自主研究発表会	多目的	28	自主研究発表会	多目的	2学年自主研究発表会
2月25日	29	地球環境問題	セミ4	29	学長講話	セミ1	
3月4日	30	卒業式・卒業記念講演	メセナ	30	卒業式・卒業記念講演	メセナ	修了式・卒業記念講演

①色付き 新規内容 ②下線部 外部講師

特別寄稿② 西森八重子 短歌鑑賞

一月十八日、一期生会員西森八重子さんからいただきました。

追悼の気持ちを含めて、残された短歌のいくつかを鑑賞したいと思います。

二月十八日 一期生 坂本藤次

① 悲しくも 歳は隠せず 朝晩の 鏡に映る 皺に納得

令和三年一月

女性はいくつになっても美しくいたい。昔は美しく装った助けになった鏡だけれど、今はわかっていて、ひと忘れたら年齢を「これが貴女の年です」と教えてくれる。

② 春よ来い 早く来いよと 口ちぢも 唇巻して 街の 目録の日々

令和三年一月

③ 雨風も 曇りも恐れ 外に出ず 足袋着のしり 引きしものぞ

令和三年七月

④ 公園に 人の姿も ない程に 猛暑続きし 引きしものぞ

令和三年八月

⑤ 人と空の じつとあなを 部屋にもしり 日々足袋を 巻の泣きし

令和三年五月

若いころ、寒い日々には暖かい春が恋しくなり、炎夏の夏には涼しい秋が待たせたい。新型コロナの蔓延もあって家に閉じこもり、足が震えて歩かなくなると。

⑥ 古思い 言わず語らず 胸の奥 あの日あの時 愛は消せぬ

令和三年六月

⑦ ホタル飛ぶ 君が古里に 帰りたい ホタルの歌を 唄った頃

令和三年八月

故郷の思いでは少女期の思いで。高校県に帰ったとき、友だちがほつりと言った一言。「八重ちゃん、古思いの人になつたよ」友だちだけに打ち明けて、七十年胸の内にもつとまた甘酸っぱい思い出を、今、歌にする。

帰りたい故郷は今の故郷ではない。七十年前の友だちと歌を唄った頃の故郷だ。

⑧ 五歳児の ひ孫を祝つ テーブルに じかに続いて スイカやぶどう

令和三年九月

⑨ 面白く しゃべる 一歳の ひ孫には 笑顔を貰い 座を和ませる

令和三年十一月

⑩ 靴下も 履かずに来た 一歳の ひ孫の足は 何と温か

令和四年一月

若い命の成長は何もの心かなくとも、孫や曾孫と触れ合つて、自分も若やした気分になる。

曾孫で随分楽しんだよつた。歌の題材にもよく出ている。そして果物。駅まで行ってバスに乗るのが大変と言っていたのだが、「ぶどうを貰うならバスも買って行ける」とも言っていた。誕生祝の果物を五歳児と争って食べたに違いない。